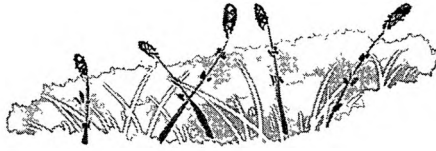


雪嶺集

〈宮坂静生鑑〉



星

小林貴子

潮時の来てるたりけり月日貝
心決む春の風花目に追ひつ
富士晴れて一縷上がりぬ雪煙
誓子忌は星の最もつらなる日
犀星忌窓に顔当て川を見る
快哉を叫び氷上もう一周
寒鰯の身をしなはせて運びゆく
御神渡出来ぬ氷の無念とな
行進はいつも嫌々多喜二の忌
雪解川ほとりに移動販売車